

首都圏 NEWS WEB

個人情報 4 6 万件の入力を再委託

01月08日 19時11分



さいたま市の情報処理会社が、埼玉県内の6つの市から委託された46万件あまりのマイナンバーなどの個人情報のデータの入力業務を、法律に違反して無断で別の業者に再委託していたことがわかりました。

マイナンバーなどの個人情報のデータ入力を別の業者に無断で再委託していたのは、さいたま市浦和区の情報処理会社「AGS」です。

会社側の説明によりますと、去年12月にマイナンバーなどの個人情報のデータ入力の委託を受けた都内の情報処理会社が別の業者に再委託していた問題を受けて調査したところ、埼玉県内の深谷市や和光市、それに東松山市など6つの市のあわせて46万件あまりのデータの入力を、別の業者に再委託していたことが確認されたということです。

これまでに個人情報の外部への流出や、埼玉県の6つの市以外での違反は確認されていないということです。

AGSは、「外部への再委託について、それぞれの自治体に許可をとる手続きを怠ってしまった。今後は社員の再教育や検証方法の強化など再発防止に務めたい」とコメントしています。